

ことば・国語科『学び』の概要』

目標 人との多様な関わりの中で思いや考えを伝え合い寄り出す力を養う。
思考力や想像力及び豊かな言語感覚を養う。
日本語の持つよさやおもしろさを体験し、ことばを大切にすることを学ぶ。

ことばの力 「協働して学びを生み出す子ども」 の真実・能力	他者と関わり、伝え合い協働する					ことばで考える					ことばを楽しむ					
	聴取	応答	主張	発表	調整	感受	想像	共感	転換	批判	関係把握・分析	調和	創作	ユーモア	機転	
1年2学期～2年	話の中心を聞きながら聞く	質問に答えて知りたいたいことを尋ねたりする	自分の言いたいことを伝える	組み立てて考えたり話す	場をともに作るように伝える	ことばを聞き止め、様子や気持ちを思い浮かべる	相手の様子や物や場の空気や気持ちを考える	相手の立場や気持ちを考える	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	他と話をすることの心地よさを認める	自分と世界を思い出し、世界を思い出すことのできる	ことばを使って相手と楽しむことができる	話すことや、ことばの心地よさを認めることを楽しむ	
3～4年	話の中心を聞きながら聞く	質問に答えて知りたいたいことを尋ねたりする	自分の言いたいことを伝える	組み立てて考えたり話す	場をともに作るように伝える	ことばを聞き止め、様子や気持ちを思い浮かべる	相手の様子や物や場の空気や気持ちを考える	相手の立場や気持ちを考える	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	他と話をすることの心地よさを認める	自分と世界を思い出し、世界を思い出すことのできる	ことばを使って相手と楽しむことができる	話すことや、ことばの心地よさを認めることを楽しむ	
小5年～中1年	根拠を挙げて、共通の話題を話し合う	質問に答えて知りたいたいことを尋ねたりする	自分の言いたいことを伝える	組み立てて考えたり話す	場をともに作るように伝える	ことばを聞き止め、様子や気持ちを思い浮かべる	相手の様子や物や場の空気や気持ちを考える	相手の立場や気持ちを考える	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	他と話をすることの心地よさを認める	自分と世界を思い出し、世界を思い出すことのできる	ことばを使って相手と楽しむことができる	話すことや、ことばの心地よさを認めることを楽しむ	
中学2～3年	根拠を挙げて、共通の話題を話し合う	質問に答えて知りたいたいことを尋ねたりする	自分の言いたいことを伝える	組み立てて考えたり話す	場をともに作るように伝える	ことばを聞き止め、様子や気持ちを思い浮かべる	相手の様子や物や場の空気や気持ちを考える	相手の立場や気持ちを考える	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	他と話をすることの心地よさを認める	自分と世界を思い出し、世界を思い出すことのできる	ことばを使って相手と楽しむことができる	話すことや、ことばの心地よさを認めることを楽しむ	

ことばの力 「協働して学びを生み出す子ども」 の真実・能力	他者と関わり、伝え合い協働する					ことばで考える					ことばを楽しむ					
	聴取	応答	主張	発表	調整	感受	想像	共感	転換	批判	関係把握・分析	調和	創作	ユーモア	機転	
小学校帰国	相手の話の中心を聞き取り、自分なりの考えをもつて聞く	適切に答えて知りたいたいことを尋ねたりする	自分の言いたいことを伝える	組み立てて考えたり話す	場をともに作るように伝える	ことばを聞き止め、様子や気持ちを思い浮かべる	相手の様子や物や場の空気や気持ちを考える	相手の立場や気持ちを考える	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	他と話をすることの心地よさを認める	自分と世界を思い出し、世界を思い出すことのできる	ことばを使って相手と楽しむことができる	話すことや、ことばの心地よさを認めることを楽しむ	
中学校帰国	話の中心を聞き取り、自分なりの考えをもつて聞く	適切に答えて知りたいたいことを尋ねたりする	自分の言いたいことを伝える	組み立てて考えたり話す	場をともに作るように伝える	ことばを聞き止め、様子や気持ちを思い浮かべる	相手の様子や物や場の空気や気持ちを考える	相手の立場や気持ちを考える	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	疑問や共通の話題を挙げて話し合う	他と話をすることの心地よさを認める	自分と世界を思い出し、世界を思い出すことのできる	ことばを使って相手と楽しむことができる	話すことや、ことばの心地よさを認めることを楽しむ	

言語生活・言語文化	声で伝えあう、関わり合う			絵や文字で表す、伝える			読んで楽しむ		文字		ソーンジャ ルスキル
	対話	スピーチ	プレゼンテーション	記録メモ	絵画	作文	読書	読書	文字	書写	
言語生活 1年2学期～2年	気持よく話しあうことばを交わ せる	順序や順番なわけを伝 える	相手の話を意識して伝え方 を考へて示 す	見たいこと、気づいたこと、書 いて伝えることを業 しむ	自分の思 いやを書き 並べて書く	中心を考え、段落の結 き方に気をつけて書く	絵本など写 し読み物 を中心に、 水に親しみ をもつ	文字の音、 仮名遣い、 漢字のつ くり、正しく書 きつける	姿勢や用 具の持ち 方に気をつ けて、丁寧に 書く	ことばの結 構、意味を 理解する	自分の気 持を相手に 伝えること ができる
3～4年	場に応じた 話し方を意 識する	話したいこ とを相手に 伝える	相手の話を意識して伝え方 を考へて示 す	様子や状 況をわか るよう、具 体的に記 す	自分の思 いやを書き 並べて書く	中心を考え、段落の結 き方に気をつけて書く	身近に本を 読み、たく さん本を 読む習慣を 身につける	いろいろな 文字や漢 字の意味を 意識して、 適切に用 いる	字形や位 置のバラ バラに気をつ けて書く	主張や理 由など、こ とばのつ くりを知る	他の気持 ちを伝え る、まわり と協調して 対話でき る
言語生活・言語文化 小5年～中1年	相手の思 いやや考 えを聞き 取り、場 に応じた 話し方を 意識する	場に応じて 工夫しながら 自分の思 いやや考 えを伝え る	相手の話を意識して伝え方 を考へて示 す	目的や用 意に 応じて、 必要な情 報を工夫し て書く	相手や目 的に応じて 表現を工夫 して書く	表現や形 式を工夫し 、事象や情 意を適切に 表す	知法や考 えなど、目 的に 応じて、幅 広いジャン ルの本を 読む	文字や漢 字の由来 や特長など に関心を持 ち、漢語 の由来や 意味を考 えていく	漢字や字 形や字 配りなど に関心を持 ち、書くこ とを生活 の中で生か して書く	基本的な 語法を知 り、表現や 理解に役 立てる、適 切な声量で 話す	ソーンジャ ルスキル
言語生活・言語文化 中学2～3年	相手の思 いやや考 えを聞き 取り、場 に応じた 話し方を 意識する	目的に応 じて、意 図的な用 意を持って 話し、相手 の思いや考 えを伝える	相手の話を意識して伝え方 を考へて示 す	目的や用 意に 応じて、 必要な情 報を工夫し て書く	相手や目 的に応じて 表現を工夫 して書く	表現や形 式を工夫し 、事象や情 意を適切に 表す	幅広いジャン ルの本を 読む	文字や漢 字の由来 や特長など に関心を持 ち、漢語 の由来や 意味を考 えていく	漢字や字 形や字 配りなど に関心を持 ち、書くこ とを生活 の中で生か して書く	基本的な 語法を知 り、表現や 理解に役 立てる、適 切な声量で 話す	ソーンジャ ルスキル

言語生活	声で伝えあう、関わり合う			絵や文字で表す、伝える			読んで楽しむ		文字		ソーンジャ ルスキル
	対話	スピーチ	プレゼンテーション	記録メモ	絵画	作文	読書	読書	文字	書写	
言語生活 小学校帰国	相手の思 いやや考 えを聞き 取り、場 に応じた 話し方を 意識する	場に応じて 工夫しながら 自分の思 いやや考 えを伝え る	相手の話を意識して伝え方 を考へて示 す	見たいこと、気づいたこと、書 いて伝えることを業 しむ	自分の思 いやを書き 並べて書く	中心を考え、段落の結 き方に気をつけて書く	絵本など写 し読み物 を中心に、 水に親しみ をもつ	文字の音、 仮名遣い、 漢字のつ くり、正しく書 きつける	姿勢や用 具の持ち 方に気をつ けて、丁寧に 書く	ことばの結 構、意味を 理解する	自分の気 持を相手に 伝えること ができる
言語生活・言語文化 中学校帰国	相手の思 いやや考 えを聞き 取り、場 に応じた 話し方を 意識する	場に応じて 工夫しながら 自分の思 いやや考 えを伝え る	相手の話を意識して伝え方 を考へて示 す	様子や状 況をわか るよう、具 体的に記 す	自分の思 いやを書き 並べて書く	中心を考え、段落の結 き方に気をつけて書く	身近に本を 読み、たく さん本を 読む習慣を 身につける	いろいろな 文字や漢 字の意味を 意識して、 適切に用 いる	字形や位 置のバラ バラに気をつ けて書く	主張や理 由など、こ とばのつ くりを知る	他の気持 ちを伝え る、まわり と協調して 対話でき る

市民・社会 『学びの概要』

価値判断力と意思決定力			
価値判断	調査・コミュニケーション	社会的な論争問題における意思決定	歴史的な見方・考え方
<p>小3・4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康と安全 ○福祉と健康 ○地域の開発 ○変化への気づき ○古いものの良さ ○人の働き・思い・願い ○異なる生活習慣や価値観 ○環境と消費活動 ○社会を見る3つの目 	<p>《調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○概念図、写真資料、聞き取り調査などから事象の特徴を読みとる。 《コミュニケーション》 ○討論の楽しさを身体で感じる。 ○自分と同じ考え方、違う考え方があることに気づき、お互いに認めようとする態度が大切なことに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○論争について具体的なプランを考え意見を交換する。(以下は具体例・みんなが喜ぶ公園を作ろう。大塚の町にお客さんがたくさん入るスーパーを作ろう。・もしも、お茶小が火事になったら。・あと30年で埋立地がなくなってしまう。東京をこみの山から救うにはどうしたらいいだろう。他県の友達に東京らしいところベスト3を紹介しよう) ○それぞれの立場の考え方の長所と短所を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○この60年くらいの間に人々のくらしは大きく変化したことや、変化には大きな契機があること。 ○人々の生活を豊かにするために、努力してきた先人の働きがあること。【変化への気づき】【古いものの良さ】【人物の働き・思い・願い】
<p>小5前半</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自国の産業育成か国際協働か ○環境への適応 ○変化への気づき ○社会を見る3つの目 	<p>《調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図、概念図から読みとったことを生かす。 ○グラフなどの統計資料から変化を読みとり、他の資料と比較関連づけることによって、変化の契機を考える。 《コミュニケーション》 ○自分の主張が、現在・未来の国民生活や政治や国際社会や人々の生活にどのような影響を与えるのかを考慮する。 ○相手の主張の内容や根拠を理解し、様々な立場から判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つの立場から、自分の考えを筋道を立てて考える。 ○それぞれの考えの長所と短所を考えながら報告を聞くとする。 ○具体的な地域活性化プランを考える(北海道、沖縄に新しい会社をつくろう。世界遺産をあとひとつ登録するなら) 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業における生産量や金額、貿易量や金額、産業の従事者数は年々変化していることや、変化には契機があること。【変化への気づき】
<p>小5後半</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境保全か開発優先か ○自国の産業育成か国際協働か ○先端技術と伝統的な技術 ○環境への適応 ○異なる生活習慣や価値観 ○情報の働き ○変化への気づき ○社会を見る3つの目 	<p>《調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図、概念図から読みとったことを生かす。 ○グラフなどの統計資料から変化を読みとり、他の資料と比較関連づけることによって、変化の契機を考える。 《コミュニケーション》 ○自分の主張が、現在・未来の国民生活や政治や国際社会や人々の生活にどのような影響を与えるのかを考慮する。 ○相手の主張の内容や根拠を理解し、様々な立場から判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つの立場から、自分の考えを筋道を立てて考える。 ○それぞれの考えの長所と短所を考えながら報告を聞くとする。 ○具体的な地域活性化プランを考える(北海道、沖縄に新しい会社をつくろう。世界遺産をあとひとつ登録するなら) 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業における生産量や金額、貿易量や金額、産業の従事者数は年々変化していることや、変化には契機があること。【変化への気づき】
<p>小6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相互依存 ○人の決断、願い ○環境保全と開発 ○環境への適応 ○基本的人権、国民主権、平和主義 ○異なる生活習慣や価値観 ○社会を見る3つの目 	<p>《調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年表から時代の景観を読みとる。 ○人物の伝記やエピソードから願いを読みとる。 《コミュニケーション》 ○自分の主張が、現在・未来の国民生活や政治や国際社会や人々の生活にどのような影響を与えるのかを予想しながら考える。 ○相手の主張の内容や根拠を理解し、様々な立場から判断し、より広い視野から考えるようにし、留保条件をだして解決策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つまたは3つの立場から、自分の考えを筋道を立てて考える。 ○それぞれの立場の考え方の長所と短所を考える。 ○具体的な政策について、プランを考える。(明治政府が目指す未来の国の姿、国際援助のあり方を考える) 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の歴史において、生活の向上を望む人々の願いに応えるような人物の働きがあったという見方ができる。【人物の業績とエピソードから歴史的な景観を考える】 ○日本の歴史には、長い間アジアの国々の影響が大きかったこと。【相互依存】
<p>【前期における配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根拠をもって自分の意見を述べること、基礎的な知識や資料を活用する力をもつこと、の両方のバランスをとれるように指導する。 ○小学校で写真資料などをじっくりと読み取る力をつけ、さまざまな資料にも親しんでおくようにする。資料を活用する力は個人差が大きく、中学での学習ののびに大きく関わる。中学 ○「暗記が多い」ということが中学校社会科への不安としてあげられていた。楽しみながら知識を吸収する力は小学生の方が優れていると感じられるので、学び方に慣れておく不安も <p>【中・後期における配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動などの学習では、安心して学べること「多様な価値観に触れる」ということを関連させる。また、小学校の既習事項を生かせる「なだらかな接続」をさせる。 ・場面設定型の授業やシティズンシップ教育を取り入れ、話し合いを生かした授業を展開する。 			
<p>中1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分自身の価値・尊厳 ○環境の保全と経済発展 ○文化・伝統の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な統計や写真資料、地図を活用し、使用する。 ○視覚的な資料にまとめ表現する。 ○社会科学習と日常経験の関係を説明する。 ・統計から「豊かさ」を分析する。 ・体験と結びつけながら、身近な地域の問題点を分析する。 ・ルールについてどのような論点があるかを明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> ○他の者の主張や意見を理解し、様々な立場から判断しようとする。 ○社会の形成者としての態度を持ち、問題に関心をもち、意思決定しようとする。 ・「豊かさ」と何か ・「身近な地域」の問題点と解決策は何か ・自分の考えるルール案 ・ルールとマナー ■社会への発信:身近な地域の問題点の改善案を自治体に送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の年代編成の仕組みを理解し、時代の特色を歴史の大きな流れとしてとらえる。 ○古代から中世にかけての国際関係、特にアジアにおける交流や関係を考えながら、歴史的事象をとらえる。
<p>中2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権 ○公正・公平 ○相互依存 ○相互理解・対等 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な資料を適切に選択し、データを位置づけ、組織する。 ○視覚的な資料を効果的に作成し、使用する。 ○様々な出来事の解釈を説明する。 ○異なる意見をもとにさらに探求し、自分の意見を深める。 ・市民革命、日清戦争の様々な立場から検討する。 ・日本のエネルギーをめぐる問題点を分析する。世界の紛争について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題について多面的に考察し、複眼的思考のもとで判断する。 ○社会の一員としての自覚をもって、意思決定を行う。 ・市民革命について評価する ・日清戦争開始時の日本の行動を選択する ・エネルギー問題解決策を選択する ・世界の紛争について評価する。 ■社会への発信:レポート集を作成し、インターネットなどで発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ○時代背景や因果関係から歴史的事象を多面的にとらえ、様々な立場から評価しあう。 ○国際的な視野の中で、日本や世界の国々の関係をとらえる。
<p>中3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権 ○社会正義 ○国際平和 ○権利と責任 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な資料の情報を分析し、吟味して適切に選択する。 ○各種省庁、団体の資料を加工し、適切にいかす。 ○調査・分析の妥当性を検討して、専門家の意見をきくなど、さらに探求する。 ・死刑制度についての論点を明確にする ・地域の問題の論点を明確にする ・紛争について問題点を分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ○論争解決への建設的・平和的手段を発達させ、示す。 ○社会の一員として、自己の責任をふまえた意思決定を行う。 ・死刑制度の存続について選択する。 ・事例を作成する。 ・紛争の解決策 ■社会への発信:具体的な政策や社会的行動を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事象と現代の問題を関連づける。 ○歴史的な事象を、時代背景や因果関係から多面的にとらえ、様々な立場にたって評価する。

社会的事象をとらえる見方・考え方

地理的な見方・考え方	政治的な見方・考え方	経済的な見方・考え方	文化的な見方・考え方
<p>○私たちが生活する土地には、土地の高低があり、そこは様々な自然や土地利用があること。 ○人々はその土地の自然条件を生かして生活していること(檜原村、八丈島、23区内)【異なる生活習慣や価値観】 ○地域にある優れた自然や文化の価値について考える。 ○私たちのくらしは、日本各地や世界と結びついて成り立っている。</p> <p>○農業生産や工業生産にはそれにあつた気候や地形があり、人々はそれらの自然条件を生かしていること。【環境への適応】</p>	<p>○健康、安全、福祉、環境など、人々の生活を豊かにする行政の働きがあること。【より安全な暮らしの優先順位を考える】 ○個人の利害と社会の利害は必ずしも一致しないことに気づき、解決策を見いだそうとする。【社会を見る3つの目】</p> <p>○様々な産業の発展を促すために、生産現場で従事する人々や様々な研究所、行政などが協力し合っていること。【相互依存】 ○貿易において諸外国と協力が生じたときには、政府同士が調整する役割をおこなうこと。【相互依存】 ○3つの社会を見る目を持ち、私的な利益と公共の利益の食い違いを調整する仕組みがあるという見方を考える。【社会を見る3つの目】</p>	<p>○地域にある商店や工場では、信頼される生産品や商品を扱い、人々の生活に役立っていること。また、そのことが自分の住む地域の生活の維持に役立っていること。【地域の発展と生活】</p> <p>○産業や消費を支える貿易は、様々な国々との間で、豊かさや技術を交換し合っていること。【相互依存】</p>	<p>○それぞれの土地には、その気候や生活に関係の深い文化があり、人々はそれを保護継承していること。【多様な生活習慣や価値観】</p> <p>○日本の国土には、豊かな自然が残っている地域があることや、その自然を残すために地域の人々や行政の努力があること。【環境保全が開発優先か】</p>
<p>○農業生産や工業生産にはそれにあつた気候や地形があり、人々はそれらの自然条件を生かしていること。【環境への適応】 ○日本の国土には、地形や気候に特色があり、それぞれの地域ごとに、人々はそれらの自然条件に適用して生活していること。【環境への適応】</p> <p>○日本と、日本に関わりの深い国々同士は、相互に経済的、文化的に依存し合っていること。【相互依存】 ○人々はそれぞれの国土の自然条件に適用しながら生活していること。また、それらを生かして、様々な産業を興していること。【環境への適応】</p>	<p>○様々な産業の発展を促すために、生産現場で従事する人々や様々な研究所、行政などが協力し合っていること。【相互依存】 ○様々な産業や行政は、その仕事の遂行に多くの情報を収集、分析し、仕事に生かしている。【情報の働き】 ○貿易において諸外国と協力が生じたときには、政府同士が調整する役割をおこなうこと。【相互依存】 ○3つの社会を見る目を持ち、私的な利益と公共の利益の食い違いを調整する仕組みがあるという見方を考える。【社会を見る3つの目】</p> <p>○国の政治のあり方は、基本法である憲法によって定められ、基本的人権、国民主権、平和主義などの原則に基づいて政治がおこなわれていること。【基本的人権、国民主権、平和主義】 ○3つの社会を見る目を持ち、私的な利益と公共の利益の食い違いを調整する仕組みがあるという見方を考える。【社会を見る3つの目】</p>	<p>○消費活動、生産活動にはお金の流通の働きが重要であること。 ○産業や消費を支える貿易は、様々な国々との間で、豊かさや技術を交換し合っていること。【相互依存】</p> <p>○日本政府や地方公共団体は、個人や法人などからの税金収入によって、計画的に運営していること。 ○日本と関わりの深い国々には、経済的つながり強い国があること。【相互依存】</p>	<p>○沖縄や北海道には、独自の文化があり、長く受け継がれてきたが、中には消えゆくこともある。【多様な生活習慣や価値観】、【変化への気づき】 ○日本の国土には、豊かな自然が残っている地域があることや、その自然を残すために地域の人々や行政の努力があること。【環境保全が開発優先か】</p> <p>○日本人と様々な国の人々とは、異なる生活様式や習慣、価値観を認め合っていくことが大切であるという見方。【多様な生活習慣や価値観】</p>

○中1と中2の間は資質能力的に大きな区切りがある。
○小3～小4は、資質能力的に連続性が強い。
○小4～小5前半は、からだで感じて調べるなど、使う能力でも似通っている。
○小5後半は、環境の保全、技術の革新など抽象的な概念を使うことが可能になる。
これは、ある意味で、小学校6年生が歴史的な見えない実際には見えない事実を扱うのに似ている。
◎これらを総合すると、市民・社会の区切りは、
・3年・4年・5年前半
・5年後半・6年・中1
・中2・中3
という3段階に分かれる。

で統計や文章資料を活用するためにも、計算力や漢字・文章読解力も指導する。軽減につながるという姿勢で指導する。

<p>○身近な地域の地理的な事象から特色や問題点を見だし、自然条件や社会条件と結びつける。</p>	<p>○日本の政治や社会の特色をとらえる。 ○政治における民衆の力をとらえる。 ○ルールを決める時、欲求ではなく、必要性、能力等、誰にどのような負担を配分するか考えながら話し合う。 ○考え方の異なる他者と話し合いながら、望ましい解決策の実現に向けて合意形成に努める。</p>	<p>○経済的出来事の原因と影響をとらえる ○身近な事例を通して、限られた資源の配分についての工夫をとらえる</p>	<p>○衣食住を中心とした伝統・文化などを通して、過去と現在における諸地域の文化の類似性と相違を考察する。</p>
<p>○地域における問題を、自然条件や社会条件から多面的に分析する。 ○貿易など、国際社会の相互依存システムをとらえる。</p> <p>○環境問題や紛争等の地球規模の問題を、多面的に考察する。</p>	<p>○日本の政治的、社会的特色の成り立ちや特色を世界的な視点からとらえる。 ○人権思想、立憲政治についてとらえる。</p> <p>○国内・国際的視点から、日本の政治的・社会的問題を明らかにする。</p>	<p>○様々な国の経済システムと、政治・社会問題への経済への影響を明らかにする。 ○先進国、開発途上国についてとらえる。</p> <p>○国内、国際的視点から経済的問題の原因を分析する。</p>	<p>○世界的な文化の多様性を通し、文化の類似性と相違を考察し、異なる価値観に対して共感的な理解をもつ。</p> <p>○異なる価値観が共存する社会について考察する。</p>

『算数・数学 学びの概要』

目標 ・体験や活動の中から数理的な課題を見つけ、それを算数・数学のことでばを通して考え、解決することによって知識・技能を身につける。
 ・自分の考え方や友だちの考え方を比べ、実践を通して確かめ、数学的な見方・考え方を広げる。
 ・学習が自らの生活に関連していることに気づき、進んで生かそうとする。
 ・学習したことをもとにして課題を発展させ、筋道を立てて粘り強く考える。

	算数関係				関わりあっている学びの姿
	数・式と計算	量と測定	図形	統計・確率	
小1 1月 7日 2年	<p>板を理解する</p> <p>数をいろいろな形で理解する</p> <p>数構成をいろいろなかたちで理解する</p> <p>数範囲の拡張に伴って十進数の理解の素地を培う</p> <p>計算の仕組みを理解する</p> <p>簡単な数の算式による計算を理解する</p> <p>式に表す、読む</p> <p>式の意味を理解する</p>	<p>比べる</p> <p>任意単位を基準に間接比較を理解する</p> <p>共通単位を基にした数値化による比較を理解する</p> <p>さまざまな量（長さ、かさ、重さ、時間）を比べる活動を通して量感の素地を育てる</p>	<p>形を操作する</p> <p>色々な形（平面及び立体）に触れ形の特徴を認識する</p> <p>色々な形の特徴を生かして具体的なものを構成する</p> <p>色々な形の構成要素を意識する</p>	<p>数のかかわり</p> <p>簡単な表、グラフの表し方を理解する</p> <p>数の関係を比べ、きまわりを見つける</p>	<p>今まで学習してきた算数の事象や友だちが出した質問を基に課題について、自なりに考えることができる</p> <p>絵や図やことば等を使って、自分の考えを友だちに伝える</p> <p>友だちの考えを聞き、解決の方法を理解することができる</p> <p>友だちとの解決の方法での意見交換を通して、新しい問題場面を考えることができる</p>
小3 2月 4日 4年	<p>板を使って考える</p> <p>数範囲を広げ、記数法に基づいた計算方法の理解</p> <p>式と数量関係</p> <p>式の意味を理解し、問題場面を捉え、未知の数量を決定する</p> <p>板を広げる</p> <p>算数以外の数を知り、その仕組みを算数の見方、考え方を広げて理解する</p>	<p>測定と単位の意味を考える</p> <p>測定の原理をさまざまな量（長さ、かさ、重さ、時間、角度、角の大きさなど）において理解する</p> <p>測定器具を作り、測定に利用する</p> <p>さまざまな量の測定を通して量感を育てる</p>	<p>図形の部分に目を向ける</p> <p>平面図形を構成要素で見える</p> <p>定規や三角定規、コンパスを用いて色々な形を作図する</p> <p>操作活動を通して立体図形の見方を培う</p>	<p>数を2次元で表す</p> <p>2次元の意味を理解する</p> <p>目的に応じてグラフを選び、項目・目盛りを考え表現する</p>	<p>既習事項や日常生活、友だちの疑問等から自分なりの課題を持ち解決に取り組み、自分の考えを図や式、ことばを使って友だちに伝えたり、自分なりに整理し、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞き、ことばから理解し、自分の考えと似ている点や違っている点を明確にする</p> <p>学習したことを整理し合い、疑問や知らないことを出し合いながら新たな課題を見つけていく</p>
小5 5月 6日 6年 9月	<p>板を分析する</p> <p>数を合成、分解し、きまわりをみつけることで数を多様化させる</p> <p>数の意味を捉え、その仕組みを算数の見方、考え方を広げて理解する</p> <p>加法・減法の意味を捉える</p> <p>算数場面での減法の意味を捉え、分数へ広げて理解する</p>	<p>長さの見方を広げる</p> <p>既習の面積の求め方を利用して他の図形の面積の求め方を理解する</p> <p>2次元の長さの見方を捉え、その性質を捉える</p> <p>算数を「および」で捉える</p> <p>既習の考えを日常生活に生かす</p>	<p>図形の見方を広げる</p> <p>平面図形を捉え、その性質を捉える</p> <p>立体図形の見方を捉え、その性質を捉える</p> <p>平面図形の見方を捉え、その性質を捉える</p> <p>立体図形の見方を捉え、その性質を捉える</p>	<p>2次元関係の表し方を広げる</p> <p>2次元の関係を表す方法を考える</p> <p>2次元の関係を適切にグラフに表し、また、グラフから元の関係をよみとる</p>	<p>課題に対して、自分で見通しを持ち自分なりの考えで解決し、図や式、ことばで説明する</p> <p>友だちの考えを聞き、自分なりのことばで説明する</p> <p>自分の考えと友だちの考えを比較し、共通点や相違点を見つけていく</p> <p>出された様々な解決方法の中から、課題場面に適したよりよい方法を話し合いを</p>

<p>6年10月7日</p> <p>既法・既法の意味を拡張する 算数場面での算算の意味を小数・分数へ広げて理解する</p>	<p>数の形数 負の数を知り、その仕組みを整数・分数・小数の見方、考え方を使得て理解する</p> <p>文字の導入 文字式を活用でき、計算の対象とする</p>	<p>単位を作る 2量の関係を表す数の意味を理解し、使うことができる</p>	<p>図形を作図 2量の取り出し、その関係を調べ、比例・反比例の関係になっていることを理解できる</p>	<p>通して遊び出す 話し合いやまとめの学習を通して、さらに発展した学習や自分に対しての適切な課題をつかむ</p>
<p>中1年10月7日</p> <p>既法・既法の意味を拡張する 算数場面での算算の意味を小数・分数へ広げて理解する</p>	<p>数の形数 負の数を知り、その仕組みを整数・分数・小数の見方、考え方を使得て理解する</p> <p>文字の導入 文字式を活用でき、計算の対象とする</p>	<p>単位を作る 2量の関係を表す数の意味を理解し、使うことができる</p>	<p>図形を作図 2量の取り出し、その関係を調べ、比例・反比例の関係になっていることを理解できる</p>	<p>話し合いやまとめの学習を通して、さらに発展した学習や自分に対しての適切な課題をつかむ</p>
<p>中2年7月3日</p> <p>既法・既法の意味を拡張する 算数場面での算算の意味を小数・分数へ広げて理解する</p>	<p>数の形数 負の数を知り、その仕組みを整数・分数・小数の見方、考え方を使得て理解する</p> <p>文字の導入 文字式を活用でき、計算の対象とする</p>	<p>単位を作る 2量の関係を表す数の意味を理解し、使うことができる</p>	<p>図形を作図 2量の取り出し、その関係を調べ、比例・反比例の関係になっていることを理解できる</p>	<p>話し合いやまとめの学習を通して、さらに発展した学習や自分に対しての適切な課題をつかむ</p>

ではさまざまな部分の接続図を示している。
 は、小・中の学校の区別を示している。
 は、発達の区別があると考えられる順番

自然・理科「新・お茶の水プラン」～『学びの概要』改題～

より良い未来のために主体的に考え、科学的根拠を持って判断行動ができる。
 探究の技能を磨き、自然の普遍性と巧みさを感じとる。
 自然の事象現象を謙虚に受け止め、事実から学ぼうとする。

人目 間指 像す	探究の柱			内容の柱			
	自然と向き合う視点	究める姿勢	関わり合う姿	素地となる活動内容例	物質	生命	
小1・2	出会う 興味関心をもつ 「不思議だな」と思う 見えるものに関心を持つ 身体感覚で自然を感じる 命の尊さを知る	見る、さわる、感じる あそぶ、発見する 身体感覚で感じる 試してみる 観察して気づく、比べる、な かま分けする	見る、まわる、伝える 教え合う、見合う 発見を見せ合う 友だちの発見と比べる 発見したことを絵や文で伝え る 友だちの表現のよさに気づ き、取り入れる	きせつみつけ 春・夏・秋・冬の行 水遊び・泥遊び あたたかさ、 冷たさを感じる 自然のもので遊 ぶおもちゃをつくる ものの性質を 使って遊ぶ	エネルギー（普遍性） 温度とかさの変化 もののあたたまり方 温度と固体、液体、気体の状態変化 磁石や電気の性質	植物の体のつくり 昆虫の体のつくり 生きものを飼う 草花や木の実を みつける・遊ぶ 生きものと遊ぶ 生きものを探す 空（雲・虹など）を ながめる	地球（巧みさを学ぶ） 日なたと日かげ、かげのでき 方 太陽の動きと影の向き 生物の生きる環境（えさやすみか） 自然界の水の循環 月の観察
小3・4	自分の身体感覚から普通単 位への切り替え ものを物質にとらえる 現象の原因を考えようとする 見えないものを説明しようとする 予想を立てる 問いをもつ 結果から推論する 自分中心の座標から絶対的 座標への切り換え	自分の身体感覚を通して特 徴や違いを比較する 温度計やばねなどの計測 器を用いて定量的に測定する 調べた結果を表やグラフで表 す 集めたり比べたりしてもの 性質を調べる 継続観察、詳しく観察 観測から自然界のしくみを知 る 科学の進歩が生活に生かさ れていることを知る	発見を見せ合う、疑問を伝え 合う 考えを発表し合う 協力して実験に取り組む 実験結果を共有する 友だちの考えを聞き、自分の 考えと比べる 友だちや先生のわかりやすく 伝えるために絵や図で表現 する 結果から推論したことを話し 合う 科学と自分たちの生活を話し 合う	電気でエネルギーの利用（光、熱、音、動力） 音、光、太陽の熱のエネルギーの生活への利用や道具	発芽の条件 動物の誕生 実と種子	天気の変化 天気と気温 天気の手帳 季節と天気（台風など） 星 星の観察	
小5・6	変化の要因や規則性を考え る マクロな目で見る 関係を考える 規則性で自然の現象を捉え る 見えないものの存在を想像し て考える	継続して観測する 見通しを持って実験する 分析的に調べる（条件制御） 条件を変えて対照実験する 自分で情報を収集し分析す る	実験方法や観測データを共 有する 実験結果を共有し、規則性を 導き出す 検証方法を考案方法を話し 合う 小グループで意見を話し合 いながら解決方法を決めて 友だちと一緒に課題に答え たり理由を考えたがける	ものの運動と力 水の落とし方 水の溶けてもなくなるはい 溶けるようすを観察する 溶ける量には限度がある 温度と溶けやすさ ものの燃え方と空気	生命のつながり 発芽の条件 動物の誕生 実と種子	天気の変化 天気と気温 天気の手帳 季節と天気（台風など） 星 星の観察	

<p>モデルで考える</p> <p>科学の成果と生活を結びつける</p>	<p>結果をグラフで定量的に表す</p> <p>記録方法の工夫</p> <p>実験観察・視測以外の補助的資料の活用</p>	<p>電磁石とモーターのしくみ</p> <p>コイルに流れる電流と磁力の関係</p> <p>電気のエネルギーから熱、光、音、力学的運動などへの関係</p>	<p>空気のはたらきを知る</p> <p>ろうそくの燃焼と空気</p> <p>酸素、二酸化炭素の性質調べ</p> <p>水溶液の性質</p> <p>酸性、中性、アルカリ性:分類</p> <p>身近な水調べ</p>	<p>植物のつくりとはたらき</p> <p>葉と日光</p> <p>生物とその環境</p>	<p>星の動き</p> <p>大地のつくり</p> <p>流水のはたらき</p> <p>火山、地震</p> <p>災害を防ぐ工夫</p>
<p>中 1</p> <p>理想通りにはいかない(誤差)</p> <p>仮説を立てる</p> <p>粒子などのモデルで考える</p> <p>エネルギーと結びつける</p> <p>演繹的に考える</p> <p>記号であらわす</p> <p>粒の動きとエネルギーを結びつけて考える</p> <p>原子・分子・イオン(電子)で考える</p>	<p>対照実験により結果を比較する</p> <p>実測値と誤差</p> <p>グラフにして考察する</p> <p>実測値を操作し資料と照らし合わせて推論する</p> <p>個別実験を科学的に計画し試してみる</p>	<p>②熱と力</p> <p>力とバネの伸び</p> <p>熱と力を表す～数量化</p> <p>熱の発散や摩擦</p> <p>熱の正体～分子運動</p> <p>力の矢印</p>	<p>①植物</p> <p>身近な植物調べ</p> <p>花・根・茎・葉のはたらき</p> <p>植物の分類と環境</p>	<p>③水の状態変化</p> <p>水の状態変化を粒で説明する</p> <p>⑤粒の正体</p> <p>粒から原子、分子へ</p> <p>元素や密度から物質を分類する</p> <p>気体を原子、分子で考える</p> <p>粒からイオンへ</p> <p>電解質、非電解質とイオン</p>	<p>④気象</p> <p>水の状態変化(物質分野)</p> <p>空気中の水の変化と循環</p> <p>気象観測</p> <p>天気の変化</p> <p>四季の変化と気象</p>
<p>中 2</p> <p>記号で考える</p> <p>時間の経過と結びつけて考える</p> <p>式で考える</p> <p>自分の生命と結びつけて考える</p> <p>環境への適応や進化を考える</p> <p>ダイナミックな時間の流れと空間の動きで考える</p>	<p>資料と照らして実物を観察する</p> <p>観察し過去のできごとを推測する</p>	<p>⑥電流と磁界</p> <p>電流・電圧と抵抗</p> <p>電流による熱の発生</p> <p>電力量</p> <p>電流と磁界</p> <p>電流の正体と電子</p>	<p>⑧動物</p> <p>動物の生活</p> <p>動物のからだのつくり</p> <p>動物のからだのはたらき</p> <p>動物の分類と環境</p>	<p>⑨地層と地球の歴史</p> <p>水のはたらきと地層</p> <p>地球の歴史・地質年代・地球環境と植物や動物の進化</p> <p>火山、地震、地球の構造</p> <p>星空観察(林間、冬休み)</p>	<p>⑩地球と宇宙</p> <p>天体の日周運動と年間運動</p> <p>四季の変化と太陽</p> <p>惑星と恒星(色・温度)</p> <p>月・内惑星・外惑星の見え方</p> <p>太陽系・銀河系</p>
<p>中 3</p> <p>立体的な位置関係を考える</p> <p>エネルギーの変化や保存を考える</p> <p>生命と物質、エネルギーを結びつけて考える</p> <p>自然界や宇宙などをシステムとしてとらえる</p> <p>自分の意見をもつ、判断する</p> <p>地球外に視点を置いて立体的に考える</p> <p>宇宙の広さを考える</p>	<p>測定値を自動的に合わせて検出し考察する</p> <p>パソコン/ロジックを活用した実験に触れる</p> <p>多くの資料を調査する</p> <p>蓄積した観測記録を活用する</p> <p>多くの情報をもとにイメージをぶくまらせる</p>	<p>⑩化学変化と原子・分子、エネルギー</p> <p>化学変化と原子・分子の結びつき</p> <p>化学変化のさまを導く</p> <p>酸化、還元とエネルギーの関係</p> <p>化学変化でエネルギーを取り出す</p>	<p>⑪生物のつながり</p> <p>生物の細胞と成長</p> <p>生物の殖え方</p> <p>生物の世界のつながりと物質、エネルギー</p> <p>自然と人間の共生</p> <p>自然と人間</p>	<p>⑪力とエネルギー</p> <p>力と運動、仕事</p> <p>エネルギーの種類と変換</p> <p>エネルギーの保存</p> <p>科学技術と人間</p>	<p>⑫地球と宇宙</p> <p>天体の日周運動と年間運動</p> <p>四季の変化と太陽</p> <p>惑星と恒星(色・温度)</p> <p>月・内惑星・外惑星の見え方</p> <p>太陽系・銀河系</p>

音楽『学びの概要』

【音楽科の目標】 音楽を通して豊かな表現者を育む

- ・からだまるごとで音を感じ、受けとめる感覚を育てる。
- ・作品や演奏者と関わり、自分なりに楽しむ態度を養う。
- ・多様な音楽を仲間と共有する中で、互いの音楽世界を広げ、より豊かな響きを味わう。

		協働して学ぶポイント			多様な表現が行き交う場（環境）の設定	
		共同性	公共性	知性・身体性	お互いに表現する・聴きあう場	本ものとの出会い (H17、18、19年度の例)
小	小1・2学期	いっしょにあそぶ いっしょに歌う (たのしいな！) 息を合わせる	順番、ルールを守る	まねる (いいな！おもしろそう！) からだまるごとで聴く よく見る よくながめる	わらべうた・音楽あそび (一・二年) ミュージックプランに基づく学習 (四・六年)	ロバの音楽座コンサート (古楽器・手作り楽器)
	小2	好きな曲をえらぶ 友だちに共感する	友だちとの違いを認める	友だちの行動をからだ で感じる		津軽三味線鑑賞会と民謡 体験ワークショップ 小1～6 希望者 H19年
	小3・小4	ともに楽しむ、聴きあう、響きあう	協力をあそぶ 折りあいをつける	こだわる		能楽体験 謡いと仕舞のワークショップ 小1～6 希望者 H10年
小	小5	互いの表現から学ぶ	見通しを持つ ・自分なりに ・友だちと話し合っ て ・具体的なイメージを持って	友だちらしさ 遠いを尊重	ミュージックプランに基づく学習 (四・六年)	江戸ばやし、獅子舞 (若山社中) 小2・3 H17年
	小6・1学期	責任をもって表現	見通しを持つ ・自分なりに ・友だちと話し合っ て ・具体的なイメージを持って	自分らしさ 良さを受けとめる 取り入れる		ベシシュタインコンサート (ピアノデュオ・マリンバ ピアノ・チェロ) 小1～6 H17年
	6年2学期	響きあう、伝える喜びを感じあう、新たな出会いを楽しむ	共感的に聴きあう より良い計画性	聴衆と響きあう		能楽小鼓 H17/18年 文楽人形ワークショップ 小2～6 希望者
中	接続前期	響きあう、伝える喜びを感じあう、新たな出会いを楽しむ	より豊かな表現者へ	聴衆と響きあう	授業 授業時間以外の活動	五嶋みどり・及川浩二 レクチャーコンサート (ヴァイオリン・ピアノ)
	接続中期	みんなで歌うという意識	みんなで歌う場を大切にしようという意識	条件に適した歌を選べる		雅楽コンサート (笙、ひちりき、龍笛) 小5、6 H17年
	接続後期	学び合う仲間づくり 互いに聴き合う 計画的・組織的な活動	学びの見通し 自分の学び みんなの学び	知識の学び方 音楽をイメージしながら 知識を学ぶ 伴奏・パターンの組み合わせによる 演奏効果を工夫する		雅楽コンサート 小4、5 H20年
校	中1後期	自分の表現の場を自分でつくり出す	アンサンブルの定着 響きが体にしみ込む 方法的合理性 主体的に音楽活動の場をつくり出す	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動 音楽プロデュース活動 音楽プロデュース活動 音楽プロデュース活動	歌舞伎鑑賞 (楽器の説明) 小6希望者 H18
	中2後期	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動		音楽プロデュース活動
中3	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動	音楽プロデュース活動	三味線ワークショップ 中1・中2 邦楽鑑賞教室 中1・2・3 H17年

		生き方（生活）を豊かに		
		つくる喜び		
		他者を意識して	対象 — 自分に向き合う	
1年2学期		なかまと共にいることを楽しむ ・なかまと共に活動を楽しむ	自分の好きなものやことを楽しむ ・好きなもの、好きなことをからだ全体で十分に楽しむ	みることを楽しむ ・さまざまな活動
低学年		なかまの存在を意識する ・なかまの表現を楽しむ ・互いの表現から影響を受け合う ・なかまと共につくることを楽しむ【共同制作】	自分の想いを持つ ・色・形・材質に関して好みを選ぶ ・好きなものを表す ・好きなように表す—好きなようにつくりかえる	よくみようとする ・見立て遊び ・さまざまな見方
中学年		他者のことを知ろうとする ・自他の違いを意識する ・なかまの表現に意見しあう 生活を楽しくしようとする ・行事を盛り上げる飾りづくり【共同制作】	想いを表現しようとする ・想いに向かい合う ・試行錯誤して想いを表す 特性を知って表現しようとする ・素材、場所等の特性を知って表す	よくみてはた ・みて感じたこと 見方を広げる ・美術館等で本物 ・アーティスト等
高学年		他者を意識して表現する ・他者が分かるように表す・他者をもてなす ・他者が使いやすいようにつくる 生活を豊かにしようとする ・身の周りのアートを見つけ生活に取り入れる	想いにこだわり、表現する ・想いを元によりよく表す・自分らしさを探る ・対象を味わい、表現する 特性をいかして表現する ・素材、場所等の特性をいかして表す	見方を深める ・美術作品等を比 ・自分の表現を分 見る楽しみを味 ・鑑賞と表現を結
小中接続期 前期 6年 9月～卒業	受他 け者 ての 表想 現い すを る	・他者と共に表現することから学ぶ【共同制作】 ・ある条件の中でつくる	対象 ・対象を把握して表す ・自分らしさを追求する	・古今東西の多様
小中接続期 中期後期 ～中1・9月	表想 現い すを る	・既習の造形要素をいかして表現する ・新しい造形要素を学び表現する	自分 ・自然の美しさを感じ、自分らしく表す ・五感を意識して身近なものを捉え、表す	継続的に描くことに親しみ、みる力を身に
中学1年		見る人の気持ちを考え伝達、交流する ・伝わるデザイン ・技法をいかして表す	特性をいかして自分なりに表現する ・造形要素の特性をいかして表現する	・ものに向き合 自分なりの見 ・自分なりに感
中学2年		使う人の気持ちを考え特性をいかして表現する ・素材をいかしてデザインする ・デザインの性質を理解する ・他者の異質性をより意識した表現活動	ものの見方や考え方を深め創意工夫して表す ・様々な角度から見る ・客観的に見る ・深く見てかかわる ・光や影をとらえる ・立体感を捉えて表す（量感・塊感・動勢） ・平面空間を意識して描く ・遠近法透視法をいかして表す	・身近なもの の形を捉える 「人物ク ロ ッ ク 」 自分の価値意 ・伝統的な文化 ・洗練された美 ・美的判断力を ・表現の相違と ・生活の中の造
中学3年		造形感覚を働かせて表現し、創意工夫してつくり生活を豊かにする ・用と美の調和を考え美意識をいかしてつくる ・身近な環境や自然との共生を視点にデザイン 他者意識に基づく発想構想表現をし、交流する ・効果的な伝達手段で伝える ・提案、発表、批評し合いよさを認め学び合う	自分の視点から発想する ・感性や想像力を働かせて構想を練る ・道筋を見通せる ・計画性を持つ 創造的な構想を工夫する ・創意工夫して総合的にまとめあげる 自分だけの表現を追求する ・独自の発想や構想、表現方法を工夫する ・伝統的なものから新しいものを生み出す	

学びの基盤	からだで感じて	はた ら き か け る	ふれる・聴く・みる・味わう・動く—止まる・這う・もぐる・くぐる・伸びる—縮む・歩く・走る・浸る・包まれる・留められる 握る・描く・写す・撮す・練る・揉む・折る・回す・混ぜる・磨く 貼る・紡ぐ・合わせる・磨く・立てる・こする・打つ・焼く・摺る	活動例 広い場で 狭い場で 学校内 公共の場 影で 光の中で 映像とともに まねして なりきって 変身して
	受けとめる	受 け と め る	引く・支える・保つ・見立てる・削る・砕く・見通す・つける・整える 快—不快・大—小・多—少ない・熱い—冷たい・固い—柔らかい 好き—嫌い・同質—異質・強い—弱い・良し—悪し・優—劣 楽しさ・面白さ・心地よさ・ぎこちなさ・しっとりくる・整然さ フィット感・落ち着く・ぎらつく・バランス・パターン・リズム・量感・塊感・動勢・部分と全体・創—写す・点—線・—多	対象例 空気 水 光 土 風 木 植物 命あるもの 季節感 空気感 味 音 香り 自然物 人工物

豊かな表現者を育む

<p>みる楽しみ</p> <p>む から「みるって楽しい」という想いを持つ</p> <p>る ・鑑賞遊び ・見続ける から気づき、発見する</p> <p>らきかける を伝え合う ・みたことをもとに表現する にふれる ・さまざまな見方に気づく と共に活動し、刺激を受ける</p> <p>べ べて話し合う かりやすく説明する</p> <p>わう びつけて楽しむ</p> <p>な美術作品にふれる</p> <p>つける 対象をじっくり観察する い、視点を変えて表現する</p> <p>方を広げる じ、想像力を働かせ美術作品等を読み解く</p> <p>方を深める 表現の工夫を理解する を働かせて美術作品から物語をつくる</p> <p>識をもって批評し合う に関心を持ち、理解と愛惜を深める しさを感じとる 身につける 共通性に気づく 形、デザインの広がりや深く感じとる</p>	<p style="text-align: center;">協働して学びを生み出そうとする子どもの姿</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>共に活動する 力を合わせようとする</p> <p>共に高めあおうとする</p> </div> <div style="width: 80%;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">自然に交じりあう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個々の遊びが自然につながり出す ○ひびき合うように並べる、重ねる、組み合わせる ○表現行為をまねる、回調する ○自然に作品がつながり出す </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">素直にぶつかりあう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表したいことを主張する □つくりたいものをゆずらない □好き嫌いをはっきり言う □価値観の違いにぶつかり合う </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">自他の違いを感じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な価値観の違いを受けとめる ○個々の役割を意識して表現する ○折り合いをつけて調整しようとする ○ゆずり合って活動できる ○互いのよさを伝え合い、意見し合う </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">自他の違いをより意識する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら目的に合わせ、役割を見出し行動する ○互いのよさをいかして補い合う </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">自他を比べるー自分の位置を探す</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の気持ちを推し量る □自分の表現に自信が持てない ○イメージを共有しながらつくりあげようとする □自分が表れることに抵抗を持つ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">他者との関わりの中で自分らしさと向き合う</p> <ul style="list-style-type: none"> □自分らしさの表し方に葛藤する ○表したいものが明確になる ○自分の表したい感じを追求する ○他者のよさに学ぼうとする ○見る人、使う人など、他者の気持ちを考えようとする </div> </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-left: 10px;"> <p>自分を意識し自分と向き合う</p> <p>より自分と向き合い他者を意識する</p> <p>他者を意識しながら自分と対話し自分らしさを見つめる</p> </div> </div>
--	---

・染まる・塗る・絞る・編む・つなげる・組み立てる・重ねる・丸める・形づくり・集める・遊ぶ・遊ぶ・積む・まとめる・分ける・曲げる・彫る

遊び心	街で 制限なしに 身体表現で	自然の中で 音の中で からだ全体で	条件の中で 他者とともに 等
------------	----------------------	-------------------------	----------------------

切る・壊す・崩す・叩く・刻む・破る・ひかく・穴をあける・通す
並べる・構成する・着る・伸ばす・ちぎる・引き裂く・のぞく・挿る

考える・工夫する・想像する・構える・身体感覚(内体感覚)を働かせる
美しさ・ユニークさ・預い希な感じ・上品さ・優雅さ・尊さ・職さ

性(色・形・材質)	人物 大量のもの 可塑性あるもの	風景 極少のもの 抵抗感あるもの	鉱物 繊細なもの 等	金属
------------------	------------------------	------------------------	------------------	----

美的感覚・美的判断力・愛おしさ・優さ・季節感・混沌・乱れ・秩序
質感・調和・かわいらしさ・危うさ・重さ・軽さ・長・短・大・細

・右-左・加-減・表-裏・垂直-水平・構築-解体・陰-陽・永遠-瞬間・天-地・自-他・男-女・生-死・男-白・囚-地・静-働・聖-俗

生活文化・技術・家庭科 『学びの概要』

目標 社会との関わりを考えながら、主体的に生活をつくり、未来を担う自立した生活者を育む
 ・興味関心を持って主体的に生活に関わろうとする態度 ・生活の中から課題を見つけて取り組む意欲
 ・主体的に生活をつくるための知識・知恵・技

生き方を支える力、の学び

：ミニマムエッセンシャルライフスキルを身につけ、選ぶ目（サステイナブルの視点）を育てる

	学びを通して育てたい資質	主な学び												
5年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活に関心を持ち、自分の力で取り組もうとする意欲 家族の一員としての自覚と役割分担の実行力 健康で元気に生きるための食生活に関する知識・知恵・技 自分の力で作るためのミニマムエッセンシャルライフスキル（自立に必要な不可欠な最低限の生活技能） 仲間と協力して作業に取り組む姿勢 	<p>○生活の自立レベル1（導入：生活文化で何を何故学ぶのかを考える）</p> <table border="1"> <tr> <th>(食領域)</th> <th>(衣領域)</th> <th>(家族・住領域)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○食べることの意味 ・体と栄養 ・食事調査 ・調理実習（計る、切る、ゆでる）☆リンゴの皮むき </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○縫い方の基礎基本 ・縫い付け ・手技の練習（手縫いで作品作り） ・布の性質 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○自分をとりまくもの ・生活時間調査 ・家事分担 ★サステイナブルライフ ○ゴミを考える ・ラップの燃焼実験 </td> </tr> </table> <p>←（消費者教育） グリーンコンシューマの視点 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミを減らす工夫 ・布の選び方・使い方 ・環境問題への気づき <p>○生活の自立レベル2（発展：生活者としての課題を考えて、学習した事を生活に生かす）</p> <table border="1"> <tr> <th>(食領域)</th> <th>(衣領域)</th> <th>(家族・住領域)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に食べる ・食品表示 ・献立を考える ・米、味噌調べ ・調理実習（炒める、煮る、炊く） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ミシン縫いの基礎基本 ・型紙作り ・作品製作活動 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○家族の知恵と技に学ぶ ・年末の大掃除 （家庭学習課題） </td> </tr> </table>	(食領域)	(衣領域)	(家族・住領域)	<ul style="list-style-type: none"> ○食べることの意味 ・体と栄養 ・食事調査 ・調理実習（計る、切る、ゆでる）☆リンゴの皮むき 	<ul style="list-style-type: none"> ○縫い方の基礎基本 ・縫い付け ・手技の練習（手縫いで作品作り） ・布の性質 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分をとりまくもの ・生活時間調査 ・家事分担 ★サステイナブルライフ ○ゴミを考える ・ラップの燃焼実験 	(食領域)	(衣領域)	(家族・住領域)	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に食べる ・食品表示 ・献立を考える ・米、味噌調べ ・調理実習（炒める、煮る、炊く） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミシン縫いの基礎基本 ・型紙作り ・作品製作活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の知恵と技に学ぶ ・年末の大掃除 （家庭学習課題）
(食領域)	(衣領域)	(家族・住領域)												
<ul style="list-style-type: none"> ○食べることの意味 ・体と栄養 ・食事調査 ・調理実習（計る、切る、ゆでる）☆リンゴの皮むき 	<ul style="list-style-type: none"> ○縫い方の基礎基本 ・縫い付け ・手技の練習（手縫いで作品作り） ・布の性質 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分をとりまくもの ・生活時間調査 ・家事分担 ★サステイナブルライフ ○ゴミを考える ・ラップの燃焼実験 												
(食領域)	(衣領域)	(家族・住領域)												
<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に食べる ・食品表示 ・献立を考える ・米、味噌調べ ・調理実習（炒める、煮る、炊く） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミシン縫いの基礎基本 ・型紙作り ・作品製作活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の知恵と技に学ぶ ・年末の大掃除 （家庭学習課題） 												
6年	<ul style="list-style-type: none"> How to に止まらない文化的、科学的な見方や捉え方 身につけた知識・知恵・技を生活に生かす態度 表示を読んで選ぶ目を育てようとする態度 これからの生活課題に目を向け関心を持つ態度 	<p>←（消費者教育） グリーンコンシューマの視点 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示を読んで選ぶ ・水環境を考える ・サステイナブルを意識する ★サステイナブルクッキング ★サステイナブルライフ 												
接続期	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境や社会との関わりを考えながら、未来を担う自立した生活者として、<選ぶ目を育て、自分の力で生活をつくらう>とする気持ちや態度 	<p>←（消費者教育） グリーンコンシューマの視点 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示を読んで選ぶ ・水環境を考える ・サステイナブルを意識する ★サステイナブルクッキング ★サステイナブルライフ 												
中1	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境や社会との関わりを考えた住生活を維持する意欲・知識・知恵・技 地球環境や社会との関わりを考えた衣生活・消費生活、知識・知恵・技 	<p>○生活の自立レベル3（発展：生活者としての自立を意識する）</p> <table border="1"> <tr> <th>(衣領域)</th> <th>(家族・住・消費者領域)</th> <th>(情報領域)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と衣服 ・衣環境を整える知識・知恵・技 ★サステイナブルライフ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と家族と暮らし ・住環境を整える知識・知恵・技 ★サステイナブルライフ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・情報処理 ・コンピュータの基本操作 ★サステイナブルライフ </td> </tr> </table> <p>←（消費者教育） グリーンコンシューマの視点 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活環境を整える知識・知恵・技 ☆ジャガイモの皮むき 	(衣領域)	(家族・住・消費者領域)	(情報領域)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と衣服 ・衣環境を整える知識・知恵・技 ★サステイナブルライフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と家族と暮らし ・住環境を整える知識・知恵・技 ★サステイナブルライフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理 ・コンピュータの基本操作 ★サステイナブルライフ 						
(衣領域)	(家族・住・消費者領域)	(情報領域)												
<ul style="list-style-type: none"> ・健康と衣服 ・衣環境を整える知識・知恵・技 ★サステイナブルライフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と家族と暮らし ・住環境を整える知識・知恵・技 ★サステイナブルライフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理 ・コンピュータの基本操作 ★サステイナブルライフ 												
中2	<ul style="list-style-type: none"> 生活を見通す力 コンピュータを使った情報処理能力を適切に行う能力 食に関する知識・知恵・技を身につけ、生活に活かす実践力 調理実習体験を通して、見通す力・段取り力・創造力・忍耐力 仲間と協力して作業に取り組む中で、（声を掛けあい、確認しあい、思いやり、感謝しあい）コミュニケーション力 食全般の文化・科学・環境・健康について知識・理解・関心 ものづくりに関する基礎的な知識と技術を習得し、それらを適切に活用する能力 	<p>○生活の自立レベル4（発展：生活者としての食の自立を意識する）</p> <table border="1"> <tr> <th>(食領域)</th> <th>(ものづくり)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・食と安全、衛生・食品と安全 ・栄養 ・調理の基礎基本 ・調理実習10回（煮こむ、炊き込む、焼く、炒める、炒め蒸し） ・食文化、食とマナー ・食に関わる学、食と環境 ・食と健康と生活全般 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の機能と構造・材料の資質と特徴・製作・組み立て </td> </tr> </table> <p>←（消費者教育） グリーンコンシューマの視点 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材購入や調理法や片づけやゴミの始末など一連を考える ☆野菜のせん切り・薄焼き卵 ★サステイナブル・クッキングゲーム2 	(食領域)	(ものづくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・食と安全、衛生・食品と安全 ・栄養 ・調理の基礎基本 ・調理実習10回（煮こむ、炊き込む、焼く、炒める、炒め蒸し） ・食文化、食とマナー ・食に関わる学、食と環境 ・食と健康と生活全般 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の機能と構造・材料の資質と特徴・製作・組み立て 								
(食領域)	(ものづくり)													
<ul style="list-style-type: none"> ・食と安全、衛生・食品と安全 ・栄養 ・調理の基礎基本 ・調理実習10回（煮こむ、炊き込む、焼く、炒める、炒め蒸し） ・食文化、食とマナー ・食に関わる学、食と環境 ・食と健康と生活全般 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の機能と構造・材料の資質と特徴・製作・組み立て 													
中3	<ul style="list-style-type: none"> 幼児に関する事柄を学び、保育・家族についての理解 保育に必要な知識・知恵・技・幼児をとりまく家族・社会への興味関心 自分や社会に目を向け、よりよく生きるとはといった生活を見通す力。（男女共同参画） 電気エネルギー利用に関する基礎的な知識・技術の習得と保守点検能力 *保護下の子ども、ではなく家族・社会の一員である事を自覚 	<p>○生活の自立レベル5（発展：今までの学習を基に幼児・家族を考える）</p> <table border="1"> <tr> <th>(保育・家族)</th> <th>(電気)</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な日常の姿の幼児、幼児の発達段階 ・幼児服の素材・デザインおもちゃ・遊び ・幼児の食・安全な暮らし ・幼児をとりまく人的環境・家族・男女共同参画、幼児に関わる法律、施設 ・これからの生活 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの変換と利用 ・技術の習得と保守点検 ・3人グループ編成で学習・製作をする。（道具、工具、の準備、後片づけ、清掃を含む） </td> </tr> </table> <p>←（消費者教育） グリーンコンシューマの視点 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ★サステイナブル・ライフへの考えを深める 	(保育・家族)	(電気)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な日常の姿の幼児、幼児の発達段階 ・幼児服の素材・デザインおもちゃ・遊び ・幼児の食・安全な暮らし ・幼児をとりまく人的環境・家族・男女共同参画、幼児に関わる法律、施設 ・これからの生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの変換と利用 ・技術の習得と保守点検 ・3人グループ編成で学習・製作をする。（道具、工具、の準備、後片づけ、清掃を含む） 								
(保育・家族)	(電気)													
<ul style="list-style-type: none"> ・自然な日常の姿の幼児、幼児の発達段階 ・幼児服の素材・デザインおもちゃ・遊び ・幼児の食・安全な暮らし ・幼児をとりまく人的環境・家族・男女共同参画、幼児に関わる法律、施設 ・これからの生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーの変換と利用 ・技術の習得と保守点検 ・3人グループ編成で学習・製作をする。（道具、工具、の準備、後片づけ、清掃を含む） 													

- <接続期> 小学校での生活レポート・実践カード・実技テストを有効に活用し教科指導内容と絡めて、接続を意識
- <適時性> 発達段階にあわせ選ぶ目・スキルをスパイラルに積み上げていくことで適時性を意識
- <協働> 調理実習・被服製作・テーマ追求学習など、生活文化・技術家庭の教科特性として協働を意識

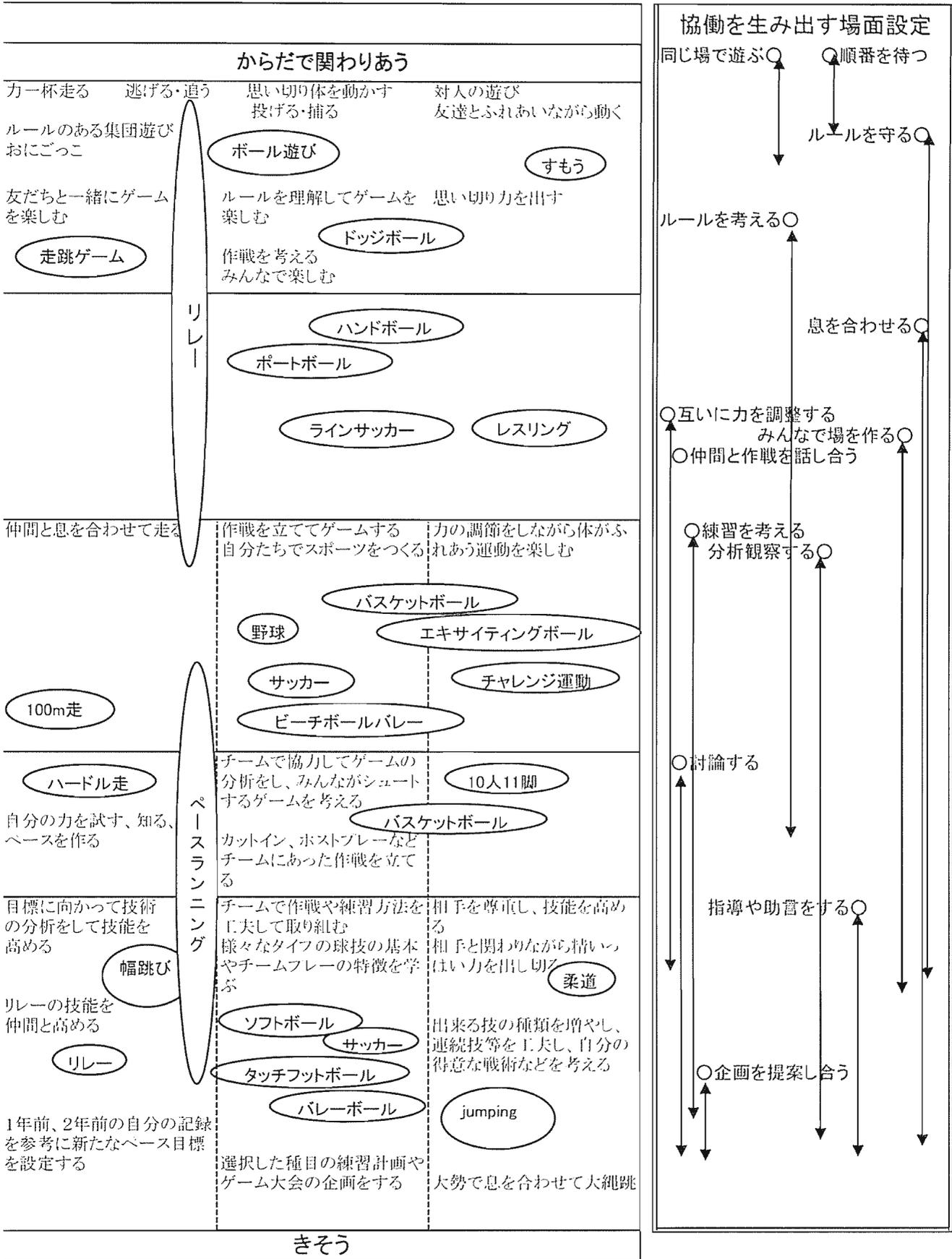
協働して学ぶポイント		
主体的に学ぶ (知る・行う・学ぶ)	他者と関わりあい学ぶ、支援 (見る・知る・考える・思いやる・行う・学ぶ)	たに広がる課題・深まる学び 考え選び・見通し・実践する)
<p>★キーワード じっくり考える わかるまで確認する 落ち着いて行動する</p> <p>★キーワード、 協力 加減、 かしこい消費者</p> <p>学習の手引きを書く 学習のめあて 学んだ知恵や技 学習のまとめ</p> <p>生活文化新聞作り</p> <p>家族の一員として 家事分担</p>	<p>おやつ会：班毎に相談し お菓子を買ひ、表示につい てまとめる</p> <p>調理実習：4名の固定メンバ ーで数多く行う</p> <p>調理実習：班実習 チェック表、班長点検</p> <p>針と糸を使って： 4名の班</p> <p>ミシンを使って： 2名のパディー</p> <p>サステイナブルの視点で 食材を選ぶ話しあい</p> <p>生活レポート・実践カード</p> <p>生活レポートの発表を聞き、 質疑応答を行う</p> <p>家事実践後、体験などについて 話しあう</p> <p>環境双六、環境生活 レポート発表会</p> <p>光の明暗を使った 通信実験を行う</p> <p>調理実習を協働して、 数多く行う</p> <p>エコエコクッキングレポート 食生活レポート発表会</p> <p>作品作り 道具、工具、の準備、 後片づけ、清掃を行う</p>	<p>生活レポートの発表を聞き、質疑応答を行う場を設定する</p> <p>実習後に班で話しあったことを発表する</p> <p>作品を見あう</p> <p>学習のめあてやまとめの発表を聞きあう</p> <p>仲間の新聞を読みあう</p> <p>お家の方コメントを聞きあう場設定する</p> <p>共有の道具・スペースを考え行うよう声かけ、教えあい学習を促す</p> <p>持続可能な地球環境に資する食材選びやゴミを減らす、生ゴミの水分を絞る、水や火を無駄にしないなど、かしこい消費者への意識を行動につなげる声かけをする</p> <p>ガイダンスでねらい・流れなどを確認する。 家庭での実践を促すべく、保護者向けにお便りを出し、実践の協力を依頼する。 中学生として、生活の自立を意識させるべくできる事を増やし、自己肯定感を高めるよう場面を設定する。 環境と生活を結びつけて考えられるよう、技を伝達しあう。 生活に関わる仕事の多さに気付きその方法を選べる目を養う。 観察、実験、プログラミングは2～4人のグループ学習で協働を促す。</p> <p>調理実習中、お互い言葉がけを行うよう声かけする(確認を言葉に出して行う)</p> <p>安全と衛生を第一に注意を促す。 食品を選ぶ目、食生活を選ぶ姿勢について意図的に学ぶ機会を設ける。 3人グループ編成で学習・製作を促す。(道具、工具、の準備、後片づけ、清掃を含む) レポート回覧発表を設定する。</p>
<p>幼児を観察し・遊んでみてレポートする</p> <p>幼児の衣食住を実験実習等で知る。</p> <p>幼児をとりまく人的環境・男女共同参画を知る</p> <p>電気を知る</p> <p>電気の特性を生かした作品作り</p>	<p>幼児の衣食住を実験実習等で知る。</p> <p>幼児をとりまく人的環境・男女共同参画を知る</p> <p>電気を知る</p> <p>電気の特性を生かした作品作り</p>	<p>周りの人・こと・ものにとり自分とは？</p> <p>社会との関わりを考えながら選ぶとる知識と技と知恵とは？</p> <p>考え選ぶ権利、サステイナブルに生きていく意味とは？</p> <p>学んだことを生活に生かすとは？</p> <p>自分にとり、家族・社会とは？</p> <p>家族・社会にとり自分とは？</p> <p>考え選ぶ権利、よりよい生き方社会とは？</p> <p>考え選びとる知識と技と知恵とは？</p> <p>“生活”から何を発見し何を学ぶのか？</p>

『学びの概要』 からだ・保健体育部会

生涯にわたって進んで健康なからだを作り、運動を楽しもうとする態度・技能を育てる
 ・自分の体を向き合い、体力を高める ・多様な経験を通して、からだで表現する

		思い切りからだを動かす			
		からだで感じる			
小1 (2学期から)		力一杯走る 基本の運動	感触を楽しむ 水の中での動きを感じる 水遊び	バランスをとる 器械・器具を使って楽しむ 登り棒	思い切り体を動かす ごっこ遊び 友だちと一緒に楽しむ
小2		体をいろいろ動かす 様々な動きに挑戦する		高いところののりぶらさがるとびあがり 縄跳び	自分で動きを見つける とびばご遊び マット遊び 見つけたものを動きにする 友だちと一緒に楽しむ
小3	運動と体の変化 体のしくみと成り立ち 自分の体力	力入れ方・抜き方 体のゆだね方	クロール	鉄棒	表現運動
小4		平泳ぎ	大縄跳び		
小5	個々の体の違い 健康な生活と環境 自分の体力と生活の改善	音に合わせて動く	巧みに泳ぐ 長く泳ぐ 服を着たまま浮く、泳ぐ		思いやり様子を動きで表現する 友だちと関わりながら動きを見つける
小6		着衣水泳	組体操	とびばご運動	マット運動
中1	保健	行うスポーツにあった準備運動を学ぶ	水と関わり様々な感覚を磨く 水の事故防止	自分のできる技を組み合わせて演技を作る 仲間と観察し、アドバイスを出せるようにする	恥ずかしがらずに表す 思いきり体を使う ダンス
		スキンドайビング	着衣水泳	とびばご・マット運動	
中2		トレーニングと身体	自分の今持っている力に応じた距離目標を立て、泳ぐ 持久水泳		イメージにふさわしい動きをみつける 友達の良い表現をみてどんな動きが良い表現なのか理解し、自己評価力を高める 個人を生かしながらグループで作品を創作し表す ダンス
中3	身体を鍛える方法を知る	自分の体力を知る			100人を越える3学年合同の集団で思い切り表現する事が出来るように創作をし、下級生をリードする 応援合戦
からだ・心を、育てる・守る・わかる					あらわす

・仲間と関わり合うことを通して、創造的に運動を楽しんだり、健康なからだをつくる



『学びの概要』 からだ・保健体育部会 保健分野 2008/4版

高木・山梨

生涯にわたって進んで健康なからだ(心と体)を作り、運動を楽しもうとする態度・技能を育てる
 ・自分のからだに向き合い、からだを知り育て守る
 ・多様な経験をを通して、ことばやからだのできたえる
 ・仲間と関わり合うことを通して、健康なからだをつくる

学習	感じる	考える	あらわす	であら	他働
小1・2	①自分の体や心の調子がわかる。 ②周りの人の体や心は個々に違っていることを感じる。 ・心のたんぽぽ ・男の子と女の子の違い ・赤ちゃんが生まれる	①人の体の仕組みについて興味をもち、体や心の変化に気づく。 ・きれいにたのたかみな ・好き嫌いがあがるかな？ ・元気なうんちが出た？ ・体の名前調べ ・借の話	①自分の思いや考えを言葉でつたえる	①新しい友達とどであら、新しい活動に参加する。	①新しい仲間や自分と日違う考え方や生活をしていいる学校の仲間とふれあひ、意見を出し合うことでより深い認識や関わりあひができる。
小3・4	①自分や周りの人の体や心は個々に違っていることを感じる。 ・大きくなるね、違っているね ・いかりの心と向き合おう	①自分の心は成長することを知る ②自分の心や呼吸の仕組みや原因と予防法を知る。 ・明食パワーの秘密 ・耳聞こえていますか？ ・骨と運動 ・肺の話	①自分の思いや考えをワークシートなどにまとめる	①仲間とのであら、や活動を楽しむ。	
小5・6	①生活の仕方が体や心に影響していることを感じる。 ・へこんだ心を元気にしよう ・ストレスとしよう中に付き合おう ・エイズ、共に生きよう ・男女の体	①自分の思いや考えを相手に分かりやすい方法で表わすことができる。	①自分の思いや考えをワークシートなどにまとめる	①自分から話し、仲間とのであら、や活動を広げる	
中1	①体や心の健康が代価や下流を表現できる。他者の健康状態やけが下流を感じ取る事ができる。 ②危険な行動、危険な場所、状況を察知できる ③自他の健康や生命の大切さや、自然に対して、たとえさや存在感を感じることが出来る。 ④注でも健康で快適に過ごせる	①体の成長や心のかたが、科学的に理解できる。 ②心身の成長発達について科学的に理解する ③健康や得意の得意を理解し、その得意や下流を考えると出来る。 ④自他の健康や生命の大切さや、自然に対して、たとえさや存在感を感じることが出来る。	①自分の思いや考えを相手に分かりやすい方法で表わすことができる。	①仲間や体験・新し知識を通して、いろいろな自分と気づく ②体験や獲得した知識・情報を通して、より深い理解や理解や認識ができるようになる ③自他の健康や生命の大切さや、自然に対して、たとえさや存在感を感じることが出来る。	①互いに他者の心身の健康や状況を気づき、援助できる ②積極的に意見を出し合い、仲間の意見に刺激を受け合い、より深い理解や認識ができるようになる ③自他の健康や生命の大切さや、自然に対して、たとえさや存在感を感じることが出来る。
中2	①大平親あだの身長はどこまで伸びるか ・大人へのステップ ・怒りの心と向き合おう ・思春期の揺れる心 ・へこんだ心を元気にしよう ・心と心で握手しよう ・心の軌跡-3年間の結果を振り返ってみよう	①危険一歩(傷害の防止) ②交通事故とその防止 ③ばたかない言葉の防止 ④エイズとの向き合おう ⑤健康と健康 本音に学ぶ旅 ⑥愛と、ちご生 生意識(感性・感情) ⑦薬物 飲酒と健康 薬物乱用防止	①バリアフリー／ユニバーサル社会をつくらう ・すべての人が健康に生きる	①バリアフリー／ユニバーサル社会をつくらう ・すべての人が健康に生きる	①バリアフリー／ユニバーサル社会をつくらう ・すべての人が健康に生きる
中3				レポート作成/レポート発表	
つづいて	ことごとくを、育てる	あらわす	であら	はたらきあひ、みんなとあひ	

中学校英語科(小学校ことばを含む)『学びの概要』

<ことばの力> 「協働して学びを生み出す子ども」の資質・能力	他者と関わり、伝え合い協働する				ことばで感じる想像する				ことばで考える				ことばを楽しむ									
	小学校低 小5年 ~中学1年 中学2~3年	聴取	読み解く	応答	主張	説得	発表	論述	見通す	調整	感受	想像	共感	転換	批判	論理	比較	分類	再構成	調和	創作	ユーモア
	・方言 ・古典(に親しむ) ・中学校英語科教員による、小6生への英語科出前授業				・ローマ字 ・漢語、和語、外来語(など言葉のルーツを学ぶ)				・さまざまな記号 ・点字				・手話									

<言語生活>

言語生活	声で伝え合う、関わり合う					絵や文字で表す、伝える					読んで楽しむ			文字			ソーシャルスキル
保育園・幼稚園	挨拶 言葉遣い	対話	スピーチ	プレゼンテーション		記録メモ	絵便り	作文			読書	文字	書写	文法	ソーシャルスキル		
小学校 低中学年																	
小学校 高学年 中学校	(1) 挨拶 言葉遣い	(2) 対話 討論	(3) スピーチ	(4) プレゼンテーション	(5) 会議	(6) 記録メモ	(7) 手紙	(8) レポート 報告	(9) 意見 文感想	(10) メディア	(11) 読書	(12) 古典	(13) 漢字	(14) 書写	(15) 文法	(16) ソーシャルスキル	

中学校外国語(英語)科 学びの概要

中学校 外国語 (英語)科	実践的コミュニケーション能力の基礎を養う			言語や文化にたいする理解を深める		
	外国語に慣れ親しみコミュニケーションを図る					
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける	・話し手の意向などを理解する ・書き手の意向などを理解する	・自分の考えなどを話す ・自分の考えなどを書く	外国語(英語)を通して、言葉のルールや働き、また、言葉の果たす役割を考える 【ことばと思考】	多様なものの見方考え方を理解し、それらを尊重する態度を身につける		
言語活動とそれを支える言語材料(言語知識・言語文化)						
・言語材料について練習する ・具体的な場面や状況に合った表現で言語活動を行う ★挨拶と日常会話 ★ファーストフード店で ●天気予報 ●買い物 ●道を尋ねる ●電話での応答 ●体調について ◆切符の買い方 ◆路線の乗り換え	<聞くこと> (1)×(2)×(3)×(4) ・基本的な音声の特徴をとらえる ・具体的な内容や大切な部分を聞き取る ・質問や依頼などに応じる ・聞き返す ★電話番号を聞く(1) ●機内放送を聞く(4) ●スピーチを聞く、読む ◆英語の聞き違い(3)	<読むこと> (6)×(7)×(8)×(9)×(10) ・文字や符号を識別する ・黙読や音読をする ・あらすじや要点を読み取る ・伝言や手紙での対応をする ★インターネットで外国について知る(6) ★物語を読む(Reading) ●伝記を読む(11) ●物語を読む(Reading) ◆インターネットで検索(1) ◆伝記を読む(6) ◆新聞記事を読む(7) ◆名作を読む(8)	<話すこと> (1)×(2)×(3)×(4) ・基本的な音声の特徴に慣れる ・自分の考えや気持ちを話す ・問答したり意見を述べ合う ・つなぎ言葉を用いる ★自分の持ち物について(2) ★家族を紹介する(3) ★自己紹介する(4) ★友だちを紹介する(5) ★一週間の予定(6) ★電話をかける(8) :★手紙を書く(11) ●過去の出来事を伝える(1) ●過去の状態や気持ちを伝える、尋ねる(2) ●天気を表す(3) ●未来のことを述べる、尋ねる(4) ●レストラードを記入する(4) ◆メールを打つ(4)	<書くこと> (6)×(7)×(8)×(9)×(10) ・語と語の区切りなどに注意して書く ・メモをとったり感想や意見を書く ・自分の考えや気持ちを書く ・伝言、手紙を書く ★言語材料(言葉のルールや知識)を理解する(5) * 音声のルール * 文法のルール * 文字や符号のルール * 語や表現の知識(900語) ★一般動詞とbe動詞 ★名詞の単数形・複数形、冠詞 ★疑問詞で始まる疑問文 ★現在進行形 ★助動詞can ★一般動詞の過去形 ●be動詞の過去形 ●There is(are)~の文 ●未来形 ●助動詞(will, shall, may, must, have to) ●SVC, SVOOの文 ●不定詞、動名詞 ●比較 ●受身形 ●接続詞(that, when, if, because) ◆現在完了形 ◆SVOOCの文 ◆不定詞(SVO+不定詞、疑問詞+不定詞、It~to...) ◆形容詞的用法の現在分詞、過去分詞 ◆関係代名詞(who,	・日本語以外の言語の1つとして外国語(英語)を楽しむ ・外国語(英語)を知ることの契機にして、日本語を含む言語を相対化できる ・外国語(英語)を通して、世界のいろいろな人間や生活や文化を知る。 ・言語と文化の密接な関係を知る (16) ★文化によるジェスチャーの違いを知る(7) ★時差について知る(8) ●色のイメージの違いを知る(3) ◆習慣(風呂の入り方)の違い(3) ◆異文化(インド、ペルー)理解(4) ◆英語のことわざ ★●◆英語の歌	

(注) ★は1年生、●は2年生、◆は3年生を表す。(1)は教科書Lesson 1を表す。
 <例> ★電話番号(1)は、電話番号が1年生の教科書Lesson 1で扱われていることを表す。
 外国語(英語)科の表中の①②③...は、国語科<言語生活>に於ける①②③...との関連があることを示す。